

平成 30 年 4 月 27 日

市政記者クラブ各位：

日本維新の会・無所属京都市会議員団  
団長 宇佐美賢一

日本維新の会・無所属京都市会議員団は、この度、身を切る公約実現の一環として月額報酬の一部、一人あたり月 6 万円を受けとらず寄付することと致しました。本日、第一回目の寄付 4 名分 24 万円を被災地福島県へ届けるべく福島県大阪事務所を訪問致します。市会では現在報酬 10%カットが継続されていますが、この姿勢を堅持し、さらに上乘せを身をもって実行するものです。

去る 2 月定例会で我々市議団は京都市一般会計予算案に反対しました。

将来の子供の財布に手をつっこみ先食いする「特別の財源対策」が平成 14 年以降毎年続き、政令指定都市で財政ワースト 1 に転落したのに、また今回も 127 億円も先食いを予算に入れたことに明確な警鐘をならすためです。

その上で、財政への反対を行った会派として、自らの政治姿勢で市長へ我々の警鐘をしっかりと受け取ってもらうべく、この度の行動を行うものです。

3 年連続で、議員が自分のボーナスアップを続けるなど、この 16 年間で、様々な場面で感覚が麻痺してしまっているのではないかと考えます。

改革は京都市でも進んではいますが、まだまだ足りておりません。今の制度でできることをさらに貪欲にトライし、また一層豊かな京都の経済・財政を作っていくための提案に今後とも前向きに汗をかいてまいります。